



No.50

平成30年7月24日発行

おおい町

# 議会だより

Ohi Town Assembly Official Report

～ 熱き鼓動 心に響く ～



大飯ブレイズ

関連記事 P16

## Contents

6月補正予算	第2期中塚町政の肉付予算を審議……………	2
6月定例会	条例改正・補正予算について審議……………	4
一般質問	起業・創業支援制度 など 5人登壇……………	9
活動報告	委員会調査など活動状況……………	14
追 跡	戸別所得補償制度終了後の対応は……………	15

# 第2期スタート

一般会計 103億3229万円

特別会計 30億2065万円

## 水田の秋起しに助成

米の品質向上対策事業

肥料持ちや有機物が少ない(特にケイ酸が不足) 土壌を改良し、おいしい米づくりを進める。

**助成要件** 水稻刈取りから10月末までに、ケイ酸資材の投入と、秋の稲わらすき込みを実施する。

**単価設定** 農作業標準料金等の経費の一部 (一反あたり8000円)



## プレミアム商品券の発行に助成

ふるさと消費元気フェア開催事業

プレミアム商品券の発行により低迷を続ける町内消費需要を喚起し、町内消費の拡大を図り町内経済全体を活性化し、町内販売事業者の持続的な成長につなげる。

**販売期間** 平成30年9月2日(日)から

**販売価格** 10000円(プレミアム率15%)

- 販売場所** おおい町商工会本所及び名田庄支所
- 発行部数** 5000セット
- 購入資格** 町内に居住又は勤務していること
- 販売上限** 1世帯につき10セットまで
- 使用制限** 換金性の高いもの(商品券、図書カード、切手、印紙、ハガキ)、たばこ、車検等の法定費用には使用不可。

## 行政ポイントのポイント数アップ

行政ポイント発行事業

行政施策の普及推進等の目的をもった事業への参加や費用負担を伴う事業への参加者に対して、現在発行している行政ポイントの発行数を増やす。

- ポイント数**
  - 1ポイント → 改正後50ポイント
  - 10ポイント → 改正後100ポイント



- ④ 養蜂事業や収益性の高い農業経営等補助事業は、行政主導型農業である。
  - ⑤ 複合商業施設計画等に充当する補助金は、新エネルギー開発の目的とは違う問題である。
- 以上により、反対する。

- ① 若狭広域行政事務組合へ2つの負担金は必要ない。
- ② こども家族館事業は県の支出が見られず開館10周年にも何ら対応がない。
- ③ 清掃センターの修理工事が計画的に施工されているため、高浜町での広域焼却場計画を進めるのは問題である。

**反対**

● 反対討論

・ 猿橋 巧議員

歳入に関して、原発関連に依存する体質を脱却する努力が見えない。

歳出では、

討  
論

議案35  
一般会計補正予算

# 第3回 定例会

# 中塚町政

## 6月補正（※肉付予算） 19億6158万円増

# 予算総額 133億5294万円

※肉付予算（にくづけよさん） 町長選挙後に政策的な経費を補正予算計上するもの。

補正予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡

## 妊婦等への医療費を助成

### 妊婦等医療費助成事業

妊婦及び産後2ヶ月までの母親に医療費を助成することにより、子どもを生き育てやすい町づくりを目指す。

- 対象者** 母子手帳の交付を受けた町内在住の妊婦及び産婦
- 助成対象** 認定期間中に受けた保険適用を受ける医療費及び食事療養費の自己負担分
- 助成方法** 申請による償還払い方式



## 同窓会開催に助成金

### 移住・定住・交流推進事業

県外在住者が帰省するきっかけづくりの同窓会開催を促し、町情報の継続的な提供などにより、将来の移住・定住の足がかりとする。

- 補助額** 21から39歳 3000円/人  
40歳以上 2000円/人  
(上限額10万円)

- 対象者** 次の要件を全て満たす町内小中学校の学年・学級単位の同窓会開催経費
  - 21歳以上の同窓生10人以上で開催され、かつ県外在住者が5人以上参加。
  - 町内で開催。
  - 町が指定する情報発信・Uターン誘引の取り組みを実施。



予算決算常任委員会での質疑・答弁についてはP6~7をご覧ください。

- ⑤ 歳入財源として国や県の事業採択や補助金獲得の努力がうかがえる。
- ④ 「妊婦等医療費助成事業」は県内初でインパクトが強く、「子育て応援の町」としてのイメージ獲得に大きな役割を果たす。
- ③ 町民の生活の質と向上を図る、防災、道路橋梁の補修や山林維持管理など多岐に渡ってバランス良く盛り込まれている。
- ② 町の重要な産業の育成として、農林水産業に対する支援や、施設整備、ブランド力の推進、担い手育成に対する事業、また、起業創業支援事業としてチャレンジショップ計画や産業団地計画が盛り込まれている。
- ① 地域活動支援事業や学生連携など、町づくり事業が充実している。

## 賛成

○賛成討論  
・尾谷和枝議員  
町長就任後の公約を具体化する予算として、

# 平成30年 第2回(4月)臨時会 議案審議結果

議案番号	件名	審議付託	議決結果
承認1	専決処分の承認を求めることについて(町税条例の一部を改正する条例)	〈議員全員協議会〉	承認
承認2	専決処分の承認を求めることについて(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)		承認
同意1	固定資産評価審査委員会委員の選任について		同意
同意2	固定資産評価審査委員会委員の選任について		同意
同意3	固定資産評価審査委員会委員の選任について		同意
同意4	教育委員会教育長の任命について		同意
同意5	教育委員会委員の任命について		同意
同意6	教育委員会委員の任命について		同意
同意7	監査委員の選任について	同意	

## 賛否が分かれた議案

	細川	原田	早川	藤原	辻	尾谷	森口	猿橋 <sup>啓</sup>	浜上	今川	森内	松井	中本	猿橋 <sup>巧</sup>
承認2	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●

○は賛成、●は反対 除は除斥 退は退席 欠は欠席 (※浜上議長は採決に加わらない。)

### 第2回臨時会

## 教育委員長などの任命に同意

#### ■常任・特別委員会の選任

3月25日の選挙により、猿橋巧氏が当選されたため、各委員会に選任するもの。

#### ○所属する委員会

- ・総務常任委員会
- ・予算決算常任委員会
- ・原子力発電対策特別委員会

#### ■専決処分の承認

##### ●承認1

#### ●町税条例等の一部を改正する条例

##### □主な改正理由

固定資産税の再生可能エネルギー発電設備に係る課税標準特例措置の拡充や土地の負担調整措置を3年間延長する等の改正に伴うもの。

【全会一致・可決】

##### ●承認2

#### ●国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

##### □主な改正理由

- ・国保税の基礎課税額の課税限度額の引き上げ
- ・低所得者の国民健康保険税の軽減措置を拡大するため、5割及び2割軽減の対象となる世帯の判定所得額を引き上げ。

##### 【起立多数・可決】

##### ●同意1～3

#### ■固定資産評価審査委員会委員の任命

任期満了に伴い、次の方の任命に同意した。

##### 【再任】

山下 利憲

(名田庄井上)

##### ●同意4

#### ■教育委員会委員長の任命

任期満了に伴い、再任に同意した。

中川 和博 (鹿野)

【全会一致・同意】

##### ●同意5・6

#### ■教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、次の方の任命に同意した。

##### 【再任】

藤原 正昭 (大島)

##### 【新任】

小野 義一

(名田庄久坂)

【全会一致・同意】

##### ●同意7

#### ■監査委員の選任

任期満了に伴い、再任に同意した。

猿橋 繁好 (本郷)

【全会一致・同意】

[敬称略]

## 平成30年 第3回(6月) 定例会 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先
報告 1	平成29年度一般会計繰越明許費繰越計算書	〈全協〉	報告	P6
報告 2	株式会社おおいの経営状況報告について		報告	
報告 3	株式会社名田庄商会の経営状況報告について		報告	
報告 4	わかさ大飯マリンワールド株式会社の経営状況報告について		報告	
報告 5	公益財団法人グリーン大飯農業公社の経営状況報告について		報告	
報告 6	株式会社名田庄ウッディーセンターの経営状況報告について		報告	
報告 7	おおい町土地開発公社の経営状況報告について		報告	
議案35	母子家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	
議案36	平成30年度一般会計補正予算(第1号)	〈予算〉	原案可決	P6~7
議案37	平成30年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)		原案可決	P7
議案38	平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)		原案可決	
議案39	平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		原案可決	
議案40	平成30年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		原案可決	
議案41	工事請負変更契約の締結について(排水改善施設整備工事)	〈産建〉	原案可決	
議案42	工事請負契約の締結について(光ケーブル加入者引込等工事(名田庄地域))	〈総務〉	原案可決	P8
議案43	工事請負契約の締結について(告知放送機器等整備工事)		原案可決	
陳情 1	エネルギー基本計画に原子力発電所の新增設・リプレースを明記することを求める意見書の提出に関する陳情	〈原特〉	採択	P8
発議 1	エネルギー基本計画に原子力発電所の新增設・リプレースを明記することを求める意見書について		原案可決	
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告及び派遣	—

※略称 〈全協〉 議員全員協議会、〈総務〉 総務常任委員会、〈産建〉 産業建設常任委員会、〈予算〉 予算決算常任委員会、〈原特〉 原子力発電対策特別委員会

### 賛否が分かれた議案

	細川	原田	早川	藤原	辻	尾谷	森口	猿橋 <sup>啓</sup>	浜上	今川	森内	松井	中本	猿橋 <sup>巧</sup>
議案36	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案42	○	○	●	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
議案43	○	○	●	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
陳情 1	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○	●
発議 1	○	○	○	○	●	○	○	○	—	○	○	●	○	●

○は賛成、●は反対 除は除斥 退は退席 欠は欠席 (※浜上議長は採決に加わらない。)

補正予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡

第3回例会  
町が出資している6法人の  
経営状況報告

■報告事項

●報告1号

平成29年度おおい町一般会計繰越明許費繰越計算書

●報告2号〜7号

地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、平成29年度の経営状況の報告を受けた。

①(株)おおい

4月15日にリニューアルオープンした「ぎのこの森」は7万7258人が訪れた。「赤礁崎オートキャンプ場」の利用者数は台風の影響で前年を大きく下回った。

②(株)名田庄商会

繁忙期の天候不順や台風の影響により低調な売り上げ実績となった。

③わかさ大飯マリンワールド(株)

「ナフコ」「ゲンキー」「サニーマーケット」がオープンし、土地賃賃料が増額となった。

④(株)名田庄ウッディセンター

ベニヤ材取扱量が前年度を上回り、利用料収入が増加となったが、全体的には減益となった。

⑤(公財)グリーン大飯農業公社

農作業代行を行うことで地域農業の労力を補完し、農家の農業機械の過剰投資を抑制している。

⑥おおい町土地開発公社

新たな担い手農家の育成が喫緊の課題である。南浦と名田庄三重の2件の分譲地を売却した。

29年度経営状況報告表

単位：円

法人名	売上高 (委託料・補助金を含む)		純利益	
	29年度	28年度	29年度	28年度
①(株)おおい	779,255,280	747,775,809	11,190,312	6,675,639
②(株)名田庄商会	219,083,841	236,027,015	368,709	3,149,835
③わかさ大飯マリンワールド(株)	38,877,466	37,793,414	19,342,404	24,471,400
④(株)名田庄ウッディセンター	23,871,574	26,497,772	721,761	1,490,259

⑤、⑥については非営利団体のため経営状況報告を省略しています。

第3回例会  
6月補正予算などを審議

■審議内容

●議案35号〈総務〉

おおい町母子家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について

母子家庭の定義に、母がいない等の事由で父母以外のものが養育している家庭を加えるもの。

■主な質疑

**問** 今回の改正で不利となる子どもはカバーできるか。

**答** ひとり親に対しては、母子家庭、父子家庭それぞれの条例により助成しているが、今回対象範囲を広げ、どちらにも該当しないが助成対象とすべき児童を母子家庭の中に規定し、医療費の助成を行うこととした。

●議案36号〈予算〉

平成30年度おおい町一般会計補正予算(第1号) 17億5729万円増額

■主な質疑

**問** おおい町の公用車買い換え基準は。軽自動車は8年で走行距離が8万キロ、普通乗用車が12年で走行距離が12万キロという基準を設けている。町長車についてはこの基準を適用していない。

**答** バス対策事業で再編検討業務を計画しているが、内容は。今後のバス対策も含め、現況把握や課題整理及びデマンド交通システムの導入方法についても検討する。

【全会一致・可決】

今回、空家特措法関連で委員会を設

置するがその目的は。

**答** 空き家対策検討会でまとめた、空き家の活用、空き家の解消及び地域の連携などについて、今後、町がどのように実行するか検討を行うため、法に基づく協議会を設置する。



**問** 健診代などは、妊婦等の医療費助成の制度では対象になるのか。

**答** 既に無料受診券という形で14回分を発行している。なお、医療費助成については保険適用分を助成する。

**問** 「あつとほくむいきいき館」の大規模改修では、重油ボイラーをエコキュートに変える計画となっている。費用対効果の検討は行っただか。

**答** 安全性の面から電化しており、費用的にはメンテナンスや重油代との比較で、年間200万円程度軽減できると試算している。

**問** 養蜂については各地で空中防除の農薬散布による被害が出ている。適地というのは非常に狭くなるが町の考えは。

**答** ミツバチの生息調査を行い、適地等々を検討していきたい。



**問** 企業振興対策事業で、農村地域産業導入実施計画策定事業の説明があつたが、産業団地造成との関連はあるのか。

**答** 産業団地を計画している佐分利地区が農業振興地域となつているため、規制を外すために計画策定が必要になつた。

**問** 頭巾山旅行村にグランドゴルフ場の計画があるが、どのようなコースを想定して設計するのか。

**答** 平らなコースではなく、今あるものを使い自然を生かした景観を損ねないものを考えている。



**問** 一滴文庫の土地取得に伴い、茅葺きの建物も取得するが相当痛んでいる。これも今後復旧する計画なのか。

**答** 景観などを配慮すると、今後茅葺きの形での改修を目指して設計することを考えている。

**議案37号〈予算〉**  
平成30年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)  
89万6千円増額  
【全会一致・可決】

**議案38号〈予算〉**  
平成30年度おおい町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)  
1億1351万6千円増額

**議案40号〈予算〉**  
平成30年度おおい町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)  
3197万9千円増額  
【全会一致・可決】

**議案41号〈産建〉**  
工事請負変更契約の締結について(排水改善施設整備工事)  
遊水地となる田の地盤が、載荷盛土による圧密沈下の促進が確認できたため、地盤改良工から暗渠排水工に変更するほか、

**主な質疑**  
本郷地区上水道の濁り水対策について、今回計上している対策で十分と考えているか。  
濁り水対策には原因を調査し、一つ一つ改善していく必要がある。

**答** 道路擁壁の小型化による地盤改良などを減工するもの。  
・変更契約額  
△172万8千円

**議案39号〈予算〉**  
平成30年度おおい町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)  
5789万8千円増額  
【全会一致・可決】

**議案42号〈産建〉**  
変更後契約金額  
2億628万円  
・契約の相手方  
株式会社こんどう

**主な質疑**  
出水の際に洪水の調節の役割を持つ遊水地の構造は。  
遊水地は砂利舗装仕上げとなる。大雨時は上流側からの雨水をいったん遊水地で受け止める構造で、そこから水路に排水し、ポンプで強制排水する仕組みである。

**答** 遊水地に暗渠排水は必要なのか。  
上流側農地からの表層水を処理するために必要で設置する。  
【全会一致・可決】

**答** 遊水地は砂利舗装仕上げとなる。大雨時は上流側からの雨水をいったん遊水地で受け止める構造で、そこから水路に排水し、ポンプで強制排水する仕組みである。

●議案42号〈総務〉

工事請負契約の締結について（光ケーブル加入者引込等工事（名田庄地域））  
30・31年度に、名田庄地域加入者宅への光ファイバー引込線の設置と既存同軸ケーブルの撤去を行うもの。

- ・契約金額 1億6005万6千円
- ・契約の相手方 西日本電信電話株式会社 福井支店
- ・工期 平成32年3月19日

【主な質疑】

【問】 工期中に新築住宅の増加が見込まれた場合も、契約金額は変わらないか。また、追加工事の場合の単価設定は。

【答】 契約戸数は、住民登録のある世帯896世帯分と公共施設、新規住宅建設も見込み980戸と計画した。

31年度以降の新規引き込み工事については、今回の1軒当たりの工事費単価16万3,000円で工事を行うことになる。

【起立多数・可決】



光ケーブル引込等工事により設置する機器類

●議案43号〈総務〉

工事請負契約の締結について（告知放送機器等整備工事）

名田庄地域のFTTH化に伴い、おおい町全域の告知放送ネットワー

ク網の統一を図るため、30・31年度において、全町対応の告知放送サーバーなどの更新を行うもの。

- ・契約金額 7560万円
- ・契約の相手方 西日本電信電話株式会社 福井支店
- ・工期 平成32年3月19日

【主な質疑】

【問】 工期が2カ年と年度の施工範囲は。

【答】 30年度は、全町FTTH対応の告知放送サーバーに更新するための機器製作を行う。31年度は名田庄地域の切り替え調整に係る労務費となっている。

【起立多数・可決】

●陳情1号〈原特〉

エネルギー基本計画に原子力発電所の新增設・リプレースを明記することを求める意見書の提出に関する陳情

原子力規制行政をなお一層充実させ、原子力に対する国民の理解を広く促しながら、明るい日本の未来を築いていくことを求めるため、政府関係機関に対し意見書を提出してもらいたいという内容のもの。

【主な意見】

【意見】 日本のエネルギー計画において原子力発電は重要なベースロード電源の位置付けで2030年度に20%から22%を目標に原子力行政を進めているもので、これを実現するには、エネルギー基本計画に原子力発電所の新增設やリプレースを明記することは

重要であるため、陳情の趣旨は理解できる。

【意見】 福島第一原発の事故を考慮すると、再稼働や運転延長に係る審査を緩和し、再稼働を推進するような規制委員会に変えることを求めるのは時期尚早である。

【意見】 廃炉に伴うリプレースや新規増設については、本委員会での調査が必要で、今後議論を深めていくことが重要であるため、継続審査とすべき。

【起立多数・可決】

●発議1号

エネルギー基本計画に原子力発電所の新增設・リプレースを明記することを求める意見書

【討論】

・反対討論

猿橋巧議員 発議内容について、その趣旨には、原子力発電の増設・建て替えを要求しており、福島原発事故が7年たっても収束せず、住民に苦難を強いっている反省がない。また、原子力規制委員会に対する趣旨と項目は、原子力発電の停滞の責任を一方的に規制委員会に求めていることは矛盾しており、国の原子力政策そのものを否定してしまうものと考ええる。推進団体の陳情をそのままにした意見書発議に対し、到底賛成できない。

【起立多数・可決】

6月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。

### 起業・創業への支援制度延長や新設は

町長 何らかの形で支援することは、今後も必要である



細川 正博

は考えているか。

**答** (町長) 支援制度の在り方も含め、社会情勢や町の財政状況などを踏まえて、検討していきたい。

**問** 基本はIJUターンを促進し、町内に定住してもらうための取り組みだと考えているが、先ほどの7件のなか

**答** (町長) 28年度から「おい町未来創生戦略」のなかで、「IJUターン等起業促進支援事業」を行っているが、現在の取り組み状況は。

**問** 28年度から「おい町未来創生戦略」のなかで、「IJUターン等起業促進支援事業」を行っているが、現在の取り組み状況は。

**答** (町長) 28・29年度の2年間の実績として、新規創業1件、二次創業4件で、今年度は新規創業1件、二次創業1件の申し込みがある。

**問** この制度は5年間となっており、31年度で制度終了となるが、引き続き支援の延長

**答** (町長) 支援制度の在り方も含め、社会情勢や町の財政状況などを踏まえて、検討していきたい。

**問** 基本はIJUターンを促進し、町内に定住してもらうための取り組みだと考えているが、先ほどの7件のなか

算での範囲内としているが、申請された事業を町として早急に進めるべきと判断した場合には、補正予算での対応を行っている。

**答** (町長) 審査はどのように行われているのか。

**問** 審査はどのように行われているのか。

**答** (町長) 一生懸命取り組む方たちを、何らかの形で支援することは、今後も必要であると認識している。

**問** 今後この支援制度を継続するの必要があるか、新たな支援制度を設ける必要があると考えるか。

**答** (町長) 今後この支援制度を継続するの必要があるか、新たな支援制度を設ける必要があると考えるか。

**問** 今後この支援制度を継続するの必要があるか、新たな支援制度を設ける必要があると考えるか。

**答** (町長) 今後この支援制度を継続するの必要があるか、新たな支援制度を設ける必要があると考えるか。

**問** 今後この支援制度を継続するの必要があるか、新たな支援制度を設ける必要があると考えるか。

**答** (町長) 1金融機関の枠が本年度より3千万円から5千万円に拡大された。引き上げた理由として、実績で全ての金融機関の融資枠が不足したのか。また、今後も上限を増やす考えはあるのか。

**問** 今後この支援制度を継続するの必要があるか、新たな支援制度を設ける必要があると考えるか。

**答** (町長) 今後この支援制度を継続するの必要があるか、新たな支援制度を設ける必要があると考えるか。

**問** 今後この支援制度を継続するの必要があるか、新たな支援制度を設ける必要があると考えるか。



### 町内企業への支援について

**問** 「おい町中小企業振興資金」で、

**答** (町長) 1金融機関の枠が本年度より3千万円から5千万円に拡大された。引き上げた理由として、実績で全ての金融機関の融資枠が不足したのか。また、今後も上限を増やす考えはあるのか。

**問** 今後この支援制度を継続するの必要があるか、新たな支援制度を設ける必要があると考えるか。

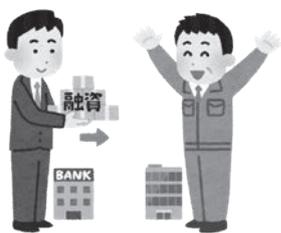
**答** (町長) 今後この支援制度を継続するの必要があるか、新たな支援制度を設ける必要があると考えるか。

**問** これから起業される方や、今まで頑張ってきた事業者の支援は、平等に行われるべきでは。

**答** (町長) そうあるべきと考えており、双方ともにどのような支援が必要か、町内の皆さまからの意見をいただきながら、検討していきたい。

**問** これから起業される方や、今まで頑張ってきた事業者の支援は、平等に行われるべきでは。

**答** (町長) そうあるべきと考えており、双方ともにどのような支援が必要か、町内の皆さまからの意見をいただきながら、検討していきたい。



※1 IJUターン等起業促進支援事業 起業家に対し事務所等賃借料や設備費、販売促進費やその他さまざまな経費を上限500万円として補助する

補正予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡

# 「おい町未来創生戦略」の進捗状況は

**町長** 効果を検証し、必要に応じて見直しなどを行い、未実施の事業の早期開始に向け準備を進める



森内 正美

**問** 外部有識者評価委員会との協議は実施されているか。

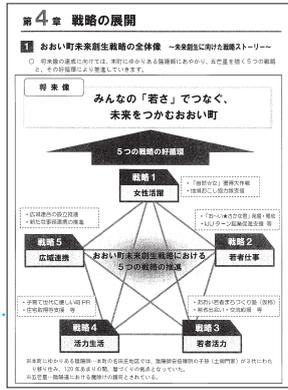
**答** (総合政策課長) 外部有識者評価委員会に諮って、実施していない事業を除き評価をいただいている。

していないが、決算審査や予算編成の段階で、評価を踏まえた事業の内容を見直しを報告している。

**問** 未来創生戦略事業の具体的状況と課題は。

**答** (副町長)

- ① 「合計特殊出生率」目標2.01は厚生労働省公表後に評価検証する。
- ② 「『自然☆女』獲得大作戦」農林水産業に従事する女性の支援、大学生による体験農業、女性対象のフォーラム、バスツアーの実施。新たに4人の女性認定農業者が従事。
- ③ 「地域おこし協力隊支援事業」で町内在住者4



④ 「『おい☆さかな君』新規漁業従事者の確保や支援で新たに6人従事。

⑤ 「1J Uターン等起業促進支援事業」起業支援の新たな補助制度の利用は申請中を含め計7件。

⑥ 「おい町未来仕掛け人会議」若者対象のまちづくり塾参加者数329人。

⑦ 「若者出会い・交流応援事業」イベントの実施や主催団体への補助。参加者数110人。

⑧ 「学生政策コンテスト事業」提案件数16件。

⑨ 「おい町進学サポート事業」進学者を対象とした町独自の学資金制度を創設し、さらに町にUターンする場合は返済を一部免除する等により町内への定住を促進する。目標値15人。

**問** 地方創生交付金対象事業の申請時や決定においては、議会の関与が求められているため、議会にも検証結果の報告をするべきでは。

**答** (総合政策課長) 実施状況の報告は

新規就農者、就業女性の獲得は並大抵ではないと実感している。受け入れ側のマッチング、

本町で就業するメリットなど、課題やニーズについて相談体制を充実させたい。

**答** (総合政策課長) 29年度は転入超過で18人増となった。これが、一過性とならないよう、子育て支援策や移住支援策をさらに進め、情報発信し目標を達成できるように努めたい。

**問** 出合い事業は、効果のある取組みが重要であるが、成立カップル数は。

**答** (住民福祉課長) 28・29年の2カ年で7組である。

**問** 「自然☆女」事業は現在、達成率は40%であり、目標達成は難しいのでは。

**答** (農林水産振興課長) 新規就農者、就業女性の獲得は並大抵ではないと実感している。受け入れ側のマッチング、

本町で就業するメリットなど、課題やニーズについて相談体制を充実させたい。

**問** 未実施の残りの1つが進学サポート事業である。町独自の学資金制度を創設する事業がこの創生戦略に取り入れられたことは、保護者にとって期待が大きい。早急に検討し、最終年度の政策パッケージに入れるべきである。

**答** (教育長) 国の制度が不確定であり、町としての制度を創設するべく現在検討している。具体的には、学生の生活にかかる経費を経済的にサポートする制度として検討中で、来年度の実施に向けて取り組む。

# 産業団地造成事業の完成年度は

## 町長 34年度に販売を開始したい



猿橋 啓一

**問** 石山地係に産業団地造成事業で5畝の土地造成を行うが、完成年度と事業費総額は。

**答** (町長) 地権者との交渉、農地転用、基本設計、実施設計などが必要であることから、順調に進めば、32年度から33年度にかけて造成工事を行い、34年度に販売が開始できればと考えている。事業費は、今年度の基本設計を踏まえて、概算費用が積み上げられる。

**問** 企業誘致において正社員の雇用が重要かと思うが、町の考えは。

**答** (商工観光振興課長) 働く人が増えることが重要で、できるだけ正社員の雇用が見込まれる事業者と契約できればと考えている。

**問** この事業の財源は。

**答** (商工観光振興課長) 産業団地造成に伴う設計、工事について国の助成を受ける予定である。

**問** 想定する誘致企業と雇用者の目標数は。

**答** (商工観光振興課長) 誘致企業の業種については、電気料金の割引制度があることから、電気を多く使用する業種の可能性が高いのではと考えている。計画地が高速インター付近であり、物流拠点なども想定できる。

**問** 雇用者の目標は、現在5人以上の新規雇用企業に、企業立地助成支援制度による助成を行なっていることから、2〜3社が進出するとすると10人から15人の新規雇用が見込めるが、あくまでも想定である。

**問** 産業団地の企業誘致について、町からの情報発信をどのように考えているか。

**答** (商工観光振興課長) 企業誘致に関するイベントへの参加、パンフレットなどで積極的なPRを図っていきたい。

**複合商業施設(仮称)の整備計画について**

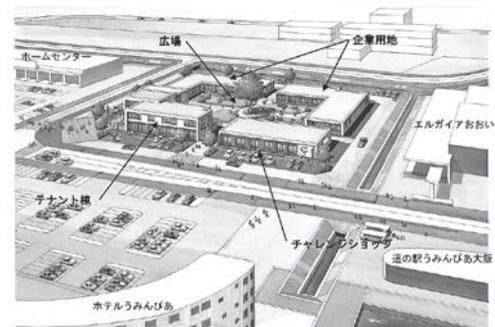
**問** うみんぴあ大飯内に計画されている複合商業施設(仮称)の取り組みは。

**答** (町長) うみんぴあ大飯は、4月に大規模小売店3店舗が開業し、平日も賑いのあるエリアになってきている。

**問** この賑いを町の商工振興に活用し新たな事業者の育成や町内事業者の事業展開を応援するため、チャレンジショップやテナント等が入る複合的な商業施設整備の検討を行っている。

**答** 整備予定地は、ナフコとエルガイアの間の町有地約1万平米で、施設のイメージ案を昨年度策定した。

複合商業施設(仮称)のイメージ図



**問** テナントは何店舗できるのか。

**答** (商工観光振興課長) 現在の案としては6店舗を想定している。

**問** 商工会と観光協会の事務所の移転は。

**答** (町長) うみんぴあ内の賑いを町全体に波及させるためには、賑いの中心地に商工振興・観光振興の核となる拠点施設を設け、最大限生かしていきけるように関係機関と協議を進めていきたい。

**問** チャレンジショップの入居期間は何年を想定しているのか。

**答** (商工観光振興課長) 入居期間は、3年程度と考えている。

**問** 33万人の入込数がある今後88万人になることと推定され、ビジネスチャンスが生まれる。出店希望者に対する審査は誰が行うのか。

**答** (商工観光振興課長) 審査についての組織を立ち上げるのか、既存の組織で運用するのか、検討している。



チャレンジショップ整備を  
検討

## 名田庄地域交流拠点の整備計画は

**町長** 名田庄総合事務所のあり方検討会からの報告を受け、各種計画と整合性を図り検討を進める



早川 正己

**問** 名田庄地域交流拠点について、周辺整備事業の計画があるが概要は。

**答** (町長) 名田庄総合事務所のあり方検討会からの報告では、あきない館および名田庄観光館を名田庄総合事務所へ移転、総合事務所の行政機能は里山文化交流センターを移転先候補としてしている。今後、各種計画との整合性を図り検討を進める。

**問** 高齢者などに必要な路線バス乗継支援モデル事業が実施されているが、実績および効果と、新たに実施予定の地域公共交通再編検討業務の内容は。

**答** (総務課長) 路線バス乗継支援モデル事業を昨年から試行的に実施している。昨年末に本モデル事業の検証とアンケート調査を実施した。結果、改善を望む一方で継続して実施してほしいとの意見もあり、当面継続して実施し、今年度、課題を整理し新たな交通施策等を総合的に検討する「公共交通再編検討業務」を実施する。地域の実情に応じた施策の導入方針を検討し、地域公共交通会議で協議していく。

**問** 路線バス流星号の運行について、平日は6便の往復、土日祝日は3便の往復で便数が少なく増便する考えは。

**答** (総務課長) ダイヤの改編については小浜市との協定が絡むもので、非常に難しいと思われるが、今年度の公共交通再編の中で何らかの方策がないか検討していきたい。

**問** 中学校の統合、再編について小中一貫校など、さまざまな再編も考えられるが、子供たちの環境、地域の諸課題も併せて議論や検討しているのか。

**答** (教育長) 町として大変重要な課題であると認識している

が、総合教育会議を開催する機会がなかった。今後開催する会議において保護者の方々の意見を踏まえて議論していく。

**問** 第三セクターの(株)おおいと(株)名田庄商会の統合について再度伺う。

6月に2社の29年度決算報告があった。(株)名田庄商会は25年度から29年度までの経営改善計画により事業展開を図っているが、決算報告を受けて再度、2社の統合について町長の考えは。

**答** (副町長) 経営母体(出資法人)が異なることや、各社の独自性もあり、現時点では今すぐ統合という考えはない。事業の活性化、効率性などを考えたときに重要な課題であるという認識は持っており、今後の各社の判断を見極めながら検討していきたい。

## 南川の鮎について

**問** 南川において6月2日に鮎釣り解禁されたが、今年は鮎の姿が見えず、鮎釣り客の姿もなかった。関係者にとっては死活問題であり、町にとっては重要な観光・産業資源である。現状の把握と今後の対策は。

**答** (農林水産振興課長) 南川は「天然鮎が遡上する100名川」として町にとって重要な観光・産業資源であり、状況の悪化を懸念している。そのため\*1「若狭地



減少が危惧される南川の鮎

域産学官水産連絡会議」において鮎の生態変化についての調査研究の実施を要望した。本年度は、南川における鮎の遡上量調査と、名田庄地域における天然遡上鮎の遡上範囲、資源量の調査を行い、今後、町としてどのような対策をとることができるのか検討していきたい。

\*1「若狭地域産学官水産連絡会議」  
若狭地域の水産業界と、県立大学や試験研究機関、行政の代表が連携し水産業の発展と地域の活性化のために組織された団体

# 原子力安全協定の未改定は行政の怠慢

## 町長 事業者による廃止措置計画申請までに改定する



猿橋 巧

ため、国の方針に基づき、おおい町と福井県がその判断を行った。

**問** 福井県知事は使用済み核燃料の県内保管を許さず、本年12月までに関西電力(株)に対して県外搬出先を示すように求めている。12月までというのなら、既に県と町にその内容を示さなければならぬ時期にきている。何ら具体策を示さない中で、国と事業者に対して再稼働の判断をしたことは許されないのでは。

**答** (町長) 今後9年程度で貯蔵プールが満杯となる見込みで、関西電力(株)は中間貯蔵施設候補地を今年中に公表する方針を示した。3・

4号機再稼働の理解については使用済み燃料対策にかかわる国・事業者の姿勢も確認した上で判断した。

**問** 歳入に廃炉に伴う原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業補助金7億394万円が計上された。予算措置がされているのに、本町の安全協定の改定をしていないのは、行政の怠慢ではないか。

**答** (町長) 大飯発電所1・2号機は、本年3月1日に正式に廃炉となった。安全協定の改定については、事業者による廃止措置計画申請までに締結をすべきものと認識している。

**問** 事業者が1・2号機の燃料を3・4号機の燃料に使うため設置変更許可を申請したが、前例のないことである。これが安全協定の廃炉条項に規定もされないことは大問題ではないか。

**答** (町長) 計画に基づいてどのようなことが行われるか、どのようなチェックや危惧すべきことが出てくるのかを注視しながら、しっかりと協定に反映させていく。

## 広域ごみ焼却施設について

**問** 広域ごみ焼却施設整備は、高浜町水明地係で建設を指しているが、犬見、小堀、成和区において影響がでるのではないかとの声があるが、必要性や住民理解に対する本町の考え方は。

**答** (副町長) 高浜町から和田地区での候補地受け入れの話があり、本年2月に環境影響調査実施に係る同意が得られたとの報告を受けた。犬見、小堀、成和区と隣接することから、本年4月下旬から5月上旬にかけて、3地区を対象に広域ごみ焼却施設整備に係る住民説明会を開催し、環境影響調査の概要や建設候補地を高浜町水明地係とすることになった経緯等を説明した。

**問** 町に見合った施設を作るという観点から、若狭広域行政事務組合から脱会してはどうか。

**答** (副町長) 4市町の議会議員各3名、計12名で構成される組合議会があり、各市町平等に住民の意見が反映できる態勢がとられている。4市町が連携して取り組むことによりスケールメリットを生かしたコストカットやマンパワー不足の補完が可能となる。

## 国庫補助事業の整合性について

**問** 国の「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金」を活用し、チャレンジシヨップなどのブランドビジョン策定を計画しているが、この事業は補助金の趣旨とはあわないのでは。

**答** (総合政策課長) 国の第三者の有識者会議で審査され、採択されたものである。

補正予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡

## 魅力あるまちづくりを学ぶ

### 総務常任委員会視察研修

【期 日】平成30年5月16・17日

【場 所】東京都江東区

東京ビックサイト

第22回自治体総合フェア

【参加者】委員 6名

今回は「人口減少時代の地方創生、地方でなにができるか」をテーマとして研修を行いました。

#### 研修セミナー

①「地域創生と地域経済の好循環の確立について」総務省自治行政局地域政策課地域情報政策質長 稲原 浩氏

②「自治体3.0のまちづくり〜ニーズに応える行政から、共に汗をかきまちへ〜」奈良県生駒市長 小柴雅史氏

③「地域密着で取り組む官民協働の地域共通ポイントの運営手法と事例について」(株)フューチャーリンク ネットワーク

#### 視察

「まちづくり・ひとづくり」「健康・介護・福祉・子育て」「ICT地域情報化」「災害対策・危機管理」など、各ブースに展示された自治体の先進的取り組み事例発表や、企業の提案最新情報など、情報収集を行いました。

地域活性で経済を好循環させ、魅力あるまちづくりをしていくことが必要とされる中、いかに柔軟に、いかに知恵やアイデアを持ち、いかに活かしていくかです。今回の視察や研修を通して、地域の中で求められていることや、生活の中で視点を変えればヒントやアイデアはたくさんあり、それが人の流れを作り、地域を盛り上げることができるといふことを学びました。



## チャレンジショップでまちを元気に

### 産業建設常任委員会研修視察

【期 日】平成30年5月30・31日

【場 所】

①奈良県奈良市餅飯殿町

奈良もちいどのセンター街協同組合「もちいどの夢CUBE」

②奈良県高市郡明日香村

明日香村役場産業づくり課

「チャレンジショップあすかむ」

【参加者】議員 7名

#### ①「もちいどの夢CUBE」

個性的なモノづくりの担い手の出店環境を整えるとのコンセプトで開設されました。若手事業者が負担可能な賃料設定が行えるよう個々の区画面積を最小限にし、町家型空間を設けて建物は1階建て（13個の箱CUBE）、多様な業種に対応できる店舗となっています。

#### ②「明日香村チャレンジショップあすかむ」

明日香村では、「滞在型観光づくり」をコンセプトとしてさまざまな分野・手法により観光

受け入れ地環境の整備を進めている。課題として

(1)明日香村内における担い手の不足。  
(2)段階的に起業・創業を目指す空間。環境の不足。  
(3)村や商工会と創業希望者とのネットワーク、関係性が脆弱。

これらを総合的に解決し明日香村の活性化を図るために「チャレンジショップあすかむ」が開設された。2年間のチャレンジ期間で達成目標に向かって事業展開を図っている。低家賃の設定と光熱水費を一部負担している。創業のための拠点として古民家を活用している。



「チャレンジショップあすかむ」にて説明を受ける

# 追跡

## あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。

当初予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡



### 同窓会の繋がりを町の活性化に活かす取り組みを

流入人口の増加や町の活性化を図るため、同窓会等の交流を活用してはどうか。

(平成28年3月議会 原田和美 議員)

町長答弁



### 未来創生戦略の中で都市交流支援事業に取り組む

「若さ集結！みなぎる活力創生戦略！」において、町出身者との交流支援に着手する。



どうなった？

### 同窓会の開催に対し、助成を実施

今年度から、同窓会開催支援補助金を予算化(P3に関連記事)



同窓会で再会



秋起こしで土づくり



### 減反政策の戸別所得補償に変わる対応策を

減反協力農家への交付金が廃止されるため、収益性の低下が危惧される。

(平成29年9月議会 藤原 議員)

農林水産振興課長答弁



### 支援制度の見直しや拡充を図る

農家の所得維持については既存の農業支援制度の見直しや拡充を図りたい。



どうなった？



### 米の品質向上対策事業を新設

秋起こし時にケイ酸資材を投入し、良質の土作りを行う農家への補助事業 (P3に関連記事)

1反あたり、8000円

# かがや 輝く人



## 太鼓と子育ての達人

大飯ブレイズ

リーダー 木下 仁資さん (万願寺区)

木下さんは、大学卒業後、佐渡の太鼓芸能集団「鼓童」の研究生として活動し、その後、おおい町にUターンされました。現在、大飯ブレイズのリーダーとして、演奏

活動や子ども達の指導にあたっておられます。大勢での熱い鼓動が今から楽しみです。熱気あふれる練習にお邪魔してお話を伺いました。

**Q** 太鼓を始めたきっかけはなんですか。

**A** 大飯ブレイズの子供太鼓を結成するときに声をかけてもらったのが始まりです。

**Q** 大飯ブレイズの活動を紹介します。

**A** 週3回の練習と、大勢はじめ町内外のお祭やイベントでの太鼓演奏、また太鼓や篠笛のワークショップも開催しています。興味のある方、お待ちしています。

**Q** 1歳のお子さんの育メンパですが、おおい町での子育ての感想は。

**A** 自分が育った町で、同世代の子供を持つ友人先輩後輩がいて、昔からお世話になったおじさんおばさんが周りにいて安心して子育てができます。我が家は両親と3世代同居なので、大変助かっています。

**Q** おおい町の良いところは。

**A** 自然があふれて食べ物がおいしく、子育てしやすいところ、子供にとっても嬉しいことです。診療所が近く、公園がたくさんあることも助かります。

**Q** これからのおおい町に望むことは。

**A** 少子高齢化が進む中、昔のような三世同居を生み出す仕掛けや、Uターン者が安心して子育てできるような近所の世話焼きおじちゃん、おばちゃんのような取り組みをしていただき、それを町外に発信して「子育てするならおおい町」のイメージを拡大してほしいです。



## 議会の傍聴にござんせ

行政ポイント発行事業です 100P

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は9月です。傍聴について詳しくは議会事務局 (77-4060) までお問い合わせください。

### 9月議会の日程

会期：8月30日から9月20日まで (22日間)  
 本会議：8月30日 (議案提案理由説明)、9月12日 (一般質問)、20日 (採決)  
 委員会：9月3日 (総務・産業建設常任委員会)、8月30日・9月5日～6日 (予算決算常任委員会)、8月31日 (原子力発電対策特別委員会)

### 編集後記

梅雨に入り鬱陶しい日が続きますが、逆に梅雨を愉しみ乗り越えましょう。

例えば、梅雨の紫陽花は美しく心を和ませてくれます。

紫陽花は、日本は弱酸性の土壌が多いので青系や紫系が主流で、欧州ではアルカリ性の土壌が多いため赤系が主流だそうです。

それから七夕に降る雨、洒落雨は織姫と彦星が年に1度の逢瀬の後で、流す涙雨といわれています。

中塚町長が2期目を担われることになり「初心を忘れずさらに前へ！みんなが主役のまちづくり」の予算が6月補正で計上されました。

今後とも住民の皆さまの声を聞き、議会が持つ使命を達成できるよう努力してまいります。

(早川記)

### 広報特別委員会委員

委員長	細川 正博
副委員長	原田 和美
委員	尾谷 和枝
〃	辻 徹
〃	藤原 義隆
〃	早川 正己